

幸せ

自己肯定

自らの考えをつくり、協働しながら活動し、
社会に貢献できる素地を育てる

主体

自分事として考え、
自分の意思で行動する力

挑戦

よりよくなるため、
よりよくするために、
考え実践する力

協働

共通の目的に向かって
他者と協力して活動する力

美作市立大原小学校

挑 戦

よりよくなるため、
よりよくするために、
考え実践する力

自高力

自分を高める

『自高力』とは、自分自身がよりよくなるために、今していることを調整・修正しながら続けたり、新しいことを始めたりする力のことである。

- ・よりよくなるための目標をもつことができる。(目標設定)
- ・今していることややると決めたことを最後まで続けることができる。(継続)
- ・自分自身を励ましたり、プラスの方向に気持ちを切り替えたりすることができる。(自己調整・コントロール)
- ・自分の知識や経験を生かすことができる。(利活用)

学高力

学校を高める

『学高力』とは、学級や学校をよりよくするために、考え、提案し、実践する力のことである。

- ・学級や学校の課題を見付け、改善策を考えることができる。(課題意識)
- ・学級や全校に改善策を提案し、実践することができる。(提案・実践)
- ・学級や学校をよりよくするためのアイデアを創造し、提案、実践することができる。(創造)
- ・自分の知識や経験を生かすことができる。(利活用)

社高力

地域社会を高める

『社高力』とは、地域社会をよりよくするために、考え、提案し、実践する力のことである。

- ・地域社会の課題を見付け、改善策を考えることができる。(課題意識)
- ・地域社会に改善策を提案し、実践することができる。(提案・実践)
- ・地域社会をよりよくするためのアイデアを創造し、提案、実践することができる。(創造)
- ・自分の知識や経験を生かすことができる。(利活用)

主 体

自分事として考え、
自分の意思で行動する力

自向力

自分と向き合う

『自向力』とは、自分自身と向き合い、自分のよさや課題を見付ける力のことである。

- ・自分が感じていること、考えていることを自覚することができる。 (自己理解)
- ・自分がわかっていること、わからないことは何かについて自覚することができる。 (自己理解)
- ・自分のよさを見付けることができる。 (自己肯定)
- ・自分の課題に気付くことができる。 (課題発見)

自考力

自分事で考える

『自考力』とは、「自分だったらどうするか」と、自分事として考える力のことである。

- ・「自分だったらどうするか」
- ・「自分にできることは何か」
- ・「自分がすべきことは何か」と考えることができる。

(自分事)

自行力

自分で決め行動する

『自行力』とは、自分事で考えたことをもとに、自分で選択・決定して、行動する力のことである。

- ・自分の言動を自分で決めることができる。(自己決定・責任)

協働

共通の目的に向かって
他者と協力して活動する力

他向力

他者と向き合う

『他向力』とは、他者の思いや考えに目を向け、耳を傾け、多様性を受け入れる力のことである。

・他者の思いや考えを聞くことができる。(受容)

・他者の考えのよさに気付くことができる。(他者肯定)

他考力

他者の立場で考える

『他考力』とは、共通の目的達成のために、他者の立場に立って物事を考え、折り合いを付けて納得解を見出す力のことである。

・共通の目的達成のために、他者の立場に立って考えることができる。(他者理解)

・自分の考えと他者の考えを比較し、共通の目的達成のために折り合いを付け、納得解を見出すことができる。(妥協・納得)

他行力

他者と共に行動する

『他行力』とは、共通の目的に向かって、自分の役割を担ったり、互いに補完し合ったりして行動する力のことである。

・共通の目的達成のために、自分の役割を担うことができる。(役割意識)

・共通の目的達成のために、他者の足りない部分を補うことができる。(補完)

・共通の目的達成のために、自分の足りない部分を他者に補ってもらうことができる。(援助の要請)